



2019年度 第6回協議会・総会

【日時】2020年2月18日（火）10:30から15:50

【場所】産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館 4階 第1会議室

【内容】

- ・ 10:30 - 12:00:インタラクティブ講習会

- ・ 12:00 - 13:00:休憩

- ・ 13:00 - 14:00:内部講義
 - 演者: 田脇 裕太(慶応義塾大学)
 - 演題: IoT センサとスマホを用いたリハビリ支援システム
 - 概要: 従来、リハビリテーションはセラピストの職人技によって行われてきました。しかし、「どのような患者にどのようなリハビリをすればどのくらい改善するのか」というような「エビデンスに基づくリハビリ」はまだ十分に行われていません。本プロジェクトではIoT センサやスマートフォンから得られる歩行データと、体力テストのデータを結びつけることによって、リハビリの過程を可視化し、セラピストの支援を行います。

- ・ 14:00 - 14:20:研究発表
 - 演者: 平田 一郎様 (兵庫県立工業技術センター)
 - 演題: スマートフォンを用いた指関節の寸法計測
 - 概要: DhaibaWorks で「握りやすさ」の分析を行うためには、ユーザの手寸法に基づいたハンドモデルを生成する必要がある。そこで、ユーザの指関節の寸法を簡易に計測する方法について検討した。これまでの研究で、足の寸法を計測するためのアプリケーションを開発した。このアプリケーションを用いることにより、カメラ画像から足寸法を計測し、DhaibaWorks を活用して生成した「ユーザの足モデル」をスマートフォンに表示させることが可能となった。そこで、



上記計測手法を活用することにより、手の寸法を計測する方法について検討した内容について紹介する。

- ・ 14:20 - 14:40: 研究発表
 - 演者: 鈴木 文晃様 (山梨県産業技術センター)
 - 演題: 身体動作シミュレーション技術を活用した製品設計手法の研究
 - 概要: 身体動作シミュレーション技術を活用することにより、身体との適合性の高い製品設計につなげられることについて地元企業への普及を図っている。しかし小規模な事業体にとっては、身体を計測するような機器の導入が普及の際のひとつのネックとなっている。そこで入手しやすい機器を使用した導入的な製品設計手法を開発し、事例となる器具を設計し普及に使用した取り組みについて紹介する。

- ・ 14:40 - 15:10: 総会
 - 2019 年度事業報告
 - 2020 年度事業計画

- ・ 15:10 - 15:15: 質疑応答

- ・ 15:15 - 15:20: 休憩

- ・ 15:20 - 15:50: 運営委員会

総会で議決権を有するのは法人会員のみです
運営委員会に参加できるのは法人会員のみです